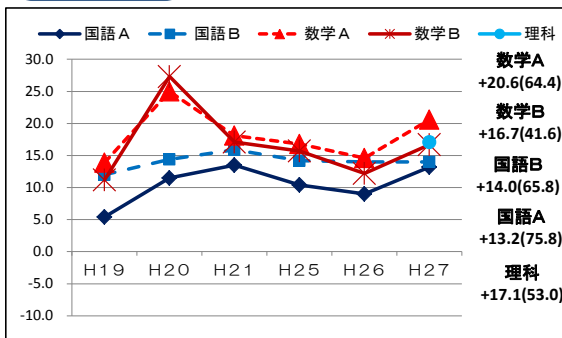


平成27年度全国学力・学習状況調査結果（県立中村中学校）

教科調査の結果

全国平均正答率との差（ ）内はH27全国正答率



※ H22～H24は悉皆調査ではないので省略しています

教科調査の詳細

国語

- 全問正解の生徒がA問題は4人、B問題は11人いる。
- A問題では、文法以外は全体として非常に高い正答率である。
- B問題では、文章の内容を捉える設問についての正答率が高いが、自分の考えを書く設問2問については、いずれも4割弱の正答率にとどまっている。

数学

- 全問正解の生徒がA問題は7人、B問題は1人いる。
- A問題では、四則計算、方程式、関数などいずれも正答率が全国に比べ、非常に高いが、文字式や図形の設問で正答率が低いものが見られる。
- B問題では、ほとんどの問題で全国より高い正答率ではあるが証明や数学的な説明などが必要な設問の正答率が低い傾向にある。

理科

- 全問正解の生徒が2人いる。
- 各分野とも高い正答率であり、選択式、短答式、記述式のいずれの形式でも、正答率は殆ど変わらない。

分析と今後の取組

- 国語、数学の少人数による授業の効果が表れている。
- 基礎的な学力については、身に付いている生徒が多い。
- 自分によいところがあると思う生徒が増加している。
- 計画的に勉強する生徒は、7割に迫っている。
- 将来の希望や夢を持っている生徒は増加した。
- 地域の行事などに参加する生徒は増加した。
- △ スマホなどを長時間使用する生徒の割合が増えている。
- △ 学習時間については、2時間以上の生徒が大幅に減少した。
- 0時間の生徒はいないが、全国と比べると少ない傾向が続いている。
- △ 自分の考えをまとめ、説明する力がまだ十分でない。

- ◎ 併設高校の学習にうまくつながるよう、反復練習、家庭学習を通して基礎学力の徹底をはかる。
- ◎ 調べ、まとめ、発表する場を増やし、自分で問題を解決する力を身に付けられる学習活動を充実する。また、体験的な活動や、高校と連携した学校行事の充実により、自分の役割を考え、連帯や奉仕の心と、責任感を身に付けられる活動を進める。
- ◎ 一部、高等学校の学習内容を取り入れ、生徒の知的好奇心を刺激し、興味や関心を高められる学習に取り組む。
- ◎ 家庭学習時間の増加のための取り組みを強く進める。

質問紙調査の結果

() 内は全国の結果

